

絆きずな 14号

平成28年12月1日発行 発行責任者:吉竹一泰 文責:野下 佐知子

毎週木曜日は「人権学習の日」です。自分の言動を振り返ったり、さまざまな人権問題について考えたりすることで、自分を磨いていく日にしましょう。

中学校への入学を控えたある日、お母さんは娘にこんなこと言いました。

母:「このお皿に、この歯磨き粉をいっぱい出してみて」

娘はちょっと不思議に思いつつも、言われるがまま歯磨き粉をお皿に出しました。

お皿にこんもりと盛られた歯磨き粉を見て満足そうなお母さんは、続けて娘にこうリクエストします。

母:「じゃあ、次はこのお皿に出された歯磨き粉をチューブに戻してみて」

娘:「??？」

娘の反応は無理もありません。一度出し切ってしまった歯磨き粉をチューブに戻すことなどできないからです。

娘は「そんなの無理よ」とお母さんに伝えます。

すると、お母さんは「なぜこんなことをやらせたのか」の真意を語り出します。

母:「よく覚えておいて。このお皿の上の状態が、あなたの今後の人生になるの。」

あなたはもうすぐ中学生になるわ。だから自分の発言に責任を持たなければいけないわ。あなたがこれから先、成長すればするほど、あなたは言葉で相手を傷つけたり、侮辱したりする機会を得るわ。

もちろん、反対にあなたが言葉で相手を癒したり、尊敬の念を示したり、誰かに愛情を伝えることもできる。時には言葉の使い方を間違ってしまうこともあるの。でも、この歯磨き粉のように一度口から出た言葉は、もう心の中に戻すことはできない。だから言葉を発する時には慎重に、思慮深くならなければダメ。あなたが発する言葉であなたの人生が決まると言っても過言ではないわ。

あなたは優しさと思いやり、人を哀れむ気持ちを持った良い娘よ。だから、どうか言葉の使い方を間違わず、誰かがあなたを必要としていたら迷わず優しく接してあげて。

あなたにはそれができるのだから。」

【感想より】

1年生

☆僕もその通りで自分の発言は責任を持つことが大切。発言一つで相手をいやな気持ちにしたり、良い気持ち、様々な気持ちにしたりできます。僕も小さい頃、何回か自分の発言に責任を持たず、傷つけたことがありました。その後、解決したけれど、とても心で後悔していました。なので、これからは発言に責任を持ち、会話していきたいです。

☆お母さんは自分の娘がこれからの事をしっかり考えて、こんな事をしてくれたと思いました。すごくいいお母さんで、きっと娘にこの話をすれば、ちゃんと理解してくれる、そう信じていたのだと思います。

☆この文を読んで、自分で言って良い言葉なのか、言っただけいけない言葉なのかを考えて発言をするということを学びました。一度口から出た言葉は、もう戻すことはできないので、これから気をつけてしゃべりたいです。

☆お母さんは娘に言葉の重みについて間違えず、楽しく学校生活を送ってほしいという願いがあるのだと思いました。だから言葉を発する時にはきちんと相手のことや状態を考えて言葉を発していきたいと思いました。お母さんは娘のことをとても大事に思っているのだなと思いました。

☆お母さんは娘を大切にしていることがよく分かります。確かに、一回言ってしまったことは元に戻らない。けれど、一回言う前に慎重に考えて発言すればそんな後悔はしなくてもいいとこの文章を読んで伝わってきました。僕も一回言ったことに後悔するなら、一回言う前に慎重に考え発言したいと思いました。

2年生

☆私もよくおじいちゃんに似たようなことを言われます。人をいじめたら次は自分に返ってくるから、人をいじめたり

してはいけません。一度言ったことは取り戻せないなど、たくさん教えてくれました。だからこそ今の自分がいるのだと思います。これからも続けていきたいと思いました。そしてもっともこの文のように優しい心を持ちたいです。

☆私は最近弟とケンカをして、ひどいことを言ってしまいました。後でよく考えるとひどいことを言ったなといつも思います。この文章に書いてあるように一度口から出てしまった言葉は絶対に消えません。これからはもっと考えてから言葉を発するようにしていきたいです。

☆私も相手を今まで傷つけてきた事があります。お母さんやお父さんは、良い子だと私を信じてくれているので、それを裏切るような事はやめていきたいです。いつも言うてから後悔してしまう時があります。だから、よく考えてから発言するようにしていきたいです。最近、意識をしているので、このまま続けていきたいです。

☆今まで何も考えずに思ったことを口に出していたけれど、もしかしたら相手が傷ついた言葉を口に出していたかもしれないので、これからは言葉の使い方気をつけたいです。

☆私も道徳の時間に、「一度言ってしまった言葉は、二度と取り返すことができない。たとえ、良い言葉でも、悪い言葉でも」と教えてもらったことがあります。これを言ったら、相手の人はどう思うか、ということを考えなければなりませんと思います。良い言葉はたくさん言ってほしいけれど、悪い言葉は言わないようにしよう、と思いました。「自分が言う言葉には責任を持つ!!」とよく言われますが、本当だな、とこの文章を読んで思いました。

3年生

☆一回言ったら戻れない歯磨き粉のように一回出したらもう戻すことができない自分の人生も戻れないと思いました。

☆中学生になると、自分の行動に責任を持つことが大切になってきます。自分がつらい時や忙しい時、つい相手に嫌なことを言ったりして傷つけてしまうことがあります。その行動をした後、心がモヤモヤしたり、あんな事言わなければよかったと思ったりしたら、それは自分の行動に責任を持っていないと思います。だから、自分の行動に責任を持って生活したいです。

☆言葉には相手を癒したり、逆に相手を傷つけてしまったりと人に大きな影響があると思います。そしてその発した言葉をなかったことにはできないということが今日あらためて分かりました。

☆言葉というものはとてもこわいものです。一つのある言葉で相手を傷つけたり、最悪の場合、死にもつながったりするととても恐ろしいものです。でも逆にとても素晴らしいものでもあります。たった一つの言葉で相手を癒したり、救ったりすることもできます。だから言葉は、人を傷つけるために使うのではなく、人を助けるために使わないといけないと思います。

小学生のうちは「うっかり口にしてしまった言葉」を周囲の人が許してくれるかもしれない。でも中学生になり、大人として扱われるようになれば、間違って発した言葉を許してくれないかもしれない。お母さんはそんな思いで娘に対して伝えたのでしょう。中学生の今、言葉の使い方を間違えずに、けれどもし間違ってしまったら、その後どうするかを考え、行動に移せる人になりたいですね。自分が発する言葉で自分の人生が決まると言っても過言ではないのだから。

【おうちの方へ】

毎週木曜日の「人権学習の日の活動」は、本校の良き伝統として長く継続しているものです。この「じんけん通信」を発行することによって、生徒たちの考えや思いを知り、共有することを図ってきました。

おうちの方からもご感想・お考え・思いなどもお寄せいただき、それらを各クラスや通信等で紹介することによって、さらに充実した活動にしていきたいと考えています。

つきましては、下記の欄に今回の資料について、あるいは生徒たちの感想等についてお書きいただき、切り取ってご提出いただきますようお願いいたします。 * 欄外のお名前等の記入につきましては、任意とさせていただきます。

キ リ ト リ

「じんけん通信」第14号「歯磨き粉の真意」(12/1 発行)

お名前【 _____ 】 (_____)年生 (父・母・祖母・祖父・その他)